

社会の境界と社会学の境界

—社会学のディシプリン再生はいかにして可能か—

2017年

9月18日(月・祝) 13:30 - 18:00

日仏会館 1階ホール

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25
J R山手線：恵比寿駅東口徒歩10分
東京メトロ日比谷線：恵比寿駅1番出口徒歩12分

言語：日本語・フランス語(同時通訳あり)

日仏会館フランス事務所Web siteより参加申込みをお願いします。
http://www.mfj.gr.jp/agenda/2017/09/18/20170918_yves_deloye/index_ja.php

東京会場

日仏会館フランス事務所

Maison Franco-Japonaise

参加無料
要オンライン申込
Inscription

京都会場

参加無料
申込不要

奈良会場

第一部 司会：白鳥義彦(神戸大学)

13:30 - 13:40 趣旨説明：中島道男(奈良女子大学)
講演者紹介：白鳥義彦(神戸大学)

13:40 - 14:40 講演

イヴ・デロワ

La sociologie durkheimienne de la citoyenneté : apports et limites.
市民性をめぐるデュルケーム社会学——寄与と限界

14:40 - 15:00 コメント：小川伸彦(奈良女子大学)
古市太郎(文京学院大学)

15:00 - 15:30 イヴ・デロワからのリプライとフロアからの質疑

第二部 司会：北垣徹(西南学院大学)

15:40 - 16:40 報告

岡崎宏樹(神戸学院大学)

非合理性と流動性——社会学の境界で考える
Irrationalité et liquidité.

荻野昌弘(関西学院大学)

不可視の他者——社会学の伝統の埒外にあるもの

La presence invisible d'autrui : ce qui échappe au cadre classique de la sociologie.

16:40 - 17:00 コメント：イヴ・デロワ

17:00 - 18:00 全体討論

デュルケーム没後100年の節目にあたり、市民性・非合理性・他者等の概念を手がかりに、社会学と現代社会双方の境界のゆらぎを分析し、ディシプリンとしての社会学の可能性を問う。

国際シンポジウム

古典から現代へ

—社会学のディシプリン再生はいかにして可能か—

2017年9月21日(木) 13:00 - 18:30

コンソーシアム京都(キャンパスプラザ京都) 2階第一会議室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通堀小路下る東堀小路町939
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線京都駅 徒歩5分

言語：日本語・フランス語・英語(講演については逐次通訳あり)

登壇者：イヴ・デロワ

La sociologie durkheimienne et l'histoire : Durkheim peut-il être considéré comme un précurseur de la sociologie historique?

デュルケーム社会学と歴史学

——デュルケームは歴史社会学の先駆者にとらえられ得るか?

池田祥英(北海道教育大学函館校)

江頭大蔵(広島大学)

中倉智徳(立命館大学)

横山寿理(聖学院大学)

主催：・基盤研究(B)社会学のディシプリン再生はいかにして可能か(15H03409)
・デュルケーム/デュルケーム学派研究会
・立命館大学生存学研究中心

ラウンド・テーブル イヴ・デロワ氏を囲んで

2017年9月22日(金) 11:00 - 14:00

奈良女子大学文学系N棟339教室(大学正門を入りすぐ右の建物) 〒630-8506 奈良市北魚屋西町

主催：・基盤研究(B)社会学のディシプリン再生はいかにして可能か(15H03409)
・デュルケーム/デュルケーム学派研究会

イヴ・デロワ Yves DÉLOYE

フランスの社会学者。1963年生まれ。ボルドー政治学院(Sciences Po Bordeaux)院長、エミール・デュルケーム研究センター員。
École et citoyenneté — L'individualisme républicain de Jules Ferry à Vichy : controverses (Presses de Sciences Po, 1994)、*Sociologie historique du politique* (Découverte, 2007 第3版; 邦訳『国民国家 構築と正統化——政治的なものの歴史社会学のために』(監訳)中野裕二、(訳)稲永祐介、小山晶子、2013年、吉田書店)、*L'acte de vote* (Presses de Sciences Po, 2008 共著)など、著書・論文多数。関心領域は、政治の歴史社会学・政治社会学・EUの政治理論・宗教と政治・科学的知識の社会学など。